

令和3年8月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.18Km²)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	5,506	8,831	4,465	4,366	△ 22	△ 24
2 千 石	3,880	6,623	3,372	3,251	0	△ 2
3 内 山	5,618	7,990	4,265	3,725	△ 16	△ 12
4 大 和	3,410	6,661	3,265	3,396	△ 4	4
5 上 野	7,374	15,463	7,606	7,857	1	△ 9
6 高 見	7,293	13,316	6,379	6,937	4	20
7 春 岡	6,847	11,032	5,778	5,254	28	22
8 田 代	11,226	21,892	10,438	11,454	24	57
9 東 山	10,318	19,328	9,427	9,901	0	△ 16
10 見 付	4,370	8,224	4,115	4,109	17	30
11 星 ケ 丘	3,459	6,809	3,041	3,768	△ 11	△ 21
12 自 由 ケ 丘	3,564	7,278	3,293	3,985	△ 6	△ 16
13 富 士 見 台	6,434	15,220	6,930	8,290	11	10
14 宮 根	3,777	8,129	3,765	4,364	2	△ 16
15 千 代 田 橋	3,696	8,358	3,949	4,409	4	4
千 種 区 計	86,772	165,154	80,088	85,066	32	31
R2. 8. 1	88,426	166,079	81,135	84,944	5	△ 44
対 前 年 比	△ 1654	△ 925	△ 1047	122	27	75
名 古 屋 市	1,125,357	2,327,954	1,143,101	1,184,853	△ 21	△ 477
愛 知 県 (R3. 7. 1)	3,248,401	7,525,239	3,749,680	3,775,559	33	△ 2,561

前月中の増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	108	106	2	928	899	29

【参考】

国勢調査千種区人口				これまでの最大人口	
昭和55年	166,837	平成12年	148,537	173,598 (昭和50年2月1日)	
昭和60年	163,762	平成17年	153,118		
平成2年	156,478	平成22年	160,015	これまでの最少人口	
平成7年	148,847	平成27年	164,696	146,727 (平成11年4月1日)	

- 注1) 令和2年度の国勢調査の世帯数と人口は、確定値が出ていないため千種区人口は未掲載。
 注2) 世帯数と人口は、令和2年国勢調査結果の本市独自集計速報値を基礎とし、毎月の住民基本台帳人口の異動数を加減して推計したものである。

千種区内の地下鉄各駅の乗車人員の状況

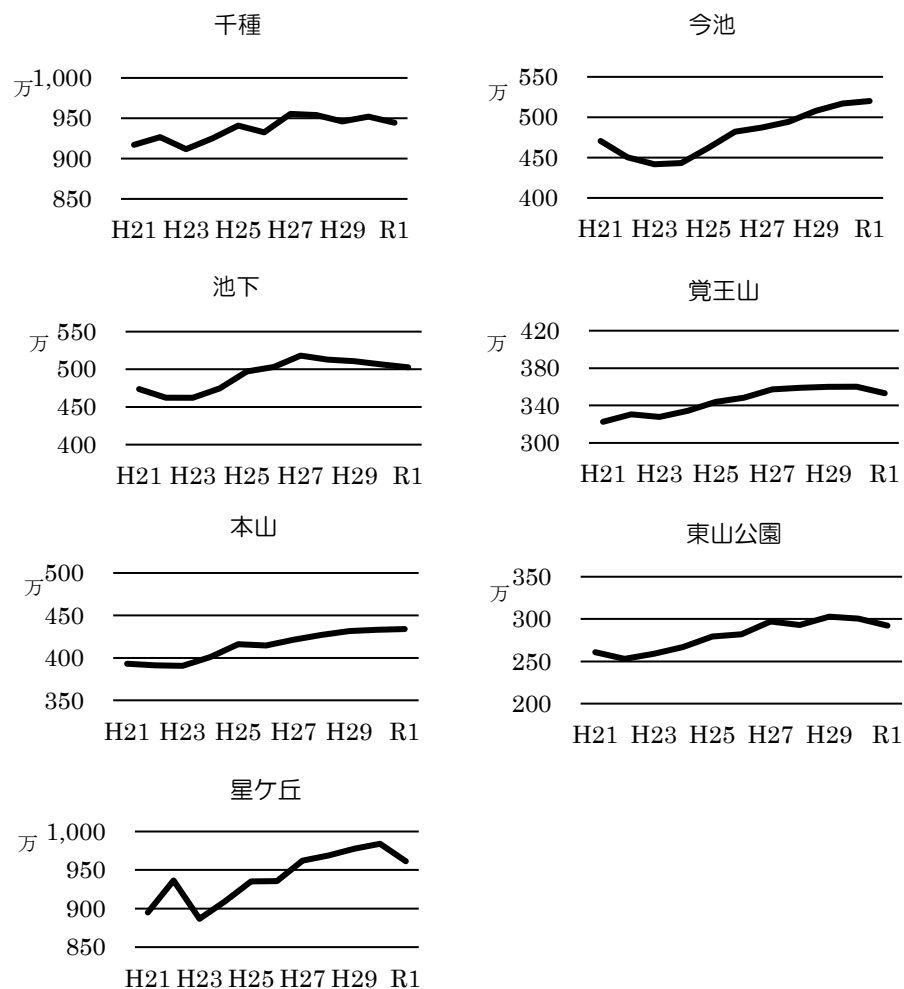


図 1：千種区内の東山線各駅の乗車人員数

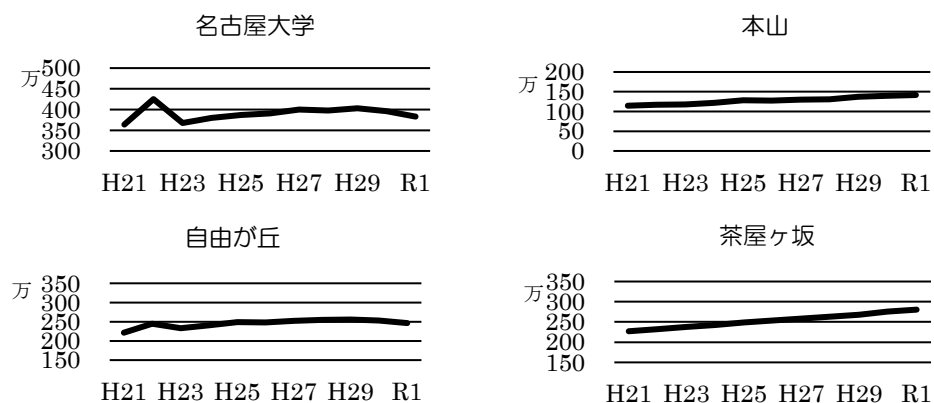


図 2：千種区内の名城線各駅の乗車人員数

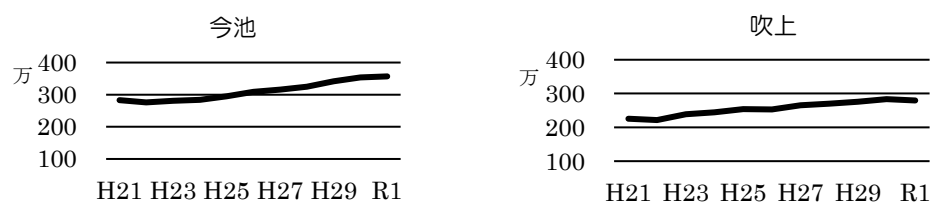


図 3：千種区内の桜通線各駅の乗車人員数

今回は、千種区内にある地下鉄各駅の乗車人数の状況を見てみます。

まず、千種区を東西に横断している東山線を見てみると、令和元年度の乗車人員数は、多い順に星ヶ丘（約961万人）、千種（約945万人）、今池（約520万人）、池下（約503万人）、本山（約434万人）、覚王山（約353万人）、東山公園（約292万人）となっています。

令和元年度は、今池と本山の利用者数増加以外は減少しています。平成21年比で増加数を見ると、10年間で星ヶ丘は約66万人、今池は約49万人、東山公園は約32万人増加しています。

つぎに、千種区を南北に縦断する名城線を見てみると、令和元年度の乗車人員数は、多い順に名古屋大学（約383万人）、茶屋ヶ坂（約280万人）、自由ヶ丘（約247万人）、本山（約142万人）となっています。本山と茶屋ヶ坂はやや増加傾向にありますが、名古屋大学と自由ヶ丘は、令和元年度は減少しています。

最後に桜通線を見てみると、令和元年度の乗車人員数は、多い順に今池（約357万人）、吹上（約280万人）です。今池は増加傾向にありますが、吹上は令和元年度は減少しています。